

令和6年度告示改正の基本的な方向性(案)について

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部
企画課 自立支援振興室

令和6年度告示改正の基本的な方向性(案)について

1. 補装具費支給制度をとりまく状況

- 補装具の素材となる原材料費(金属、プラスチック等)の価格高騰。
※ このほか、原油価格高騰に伴う物流価格の上昇による影響。
特に、海外から輸入している原材料、製品については、為替相場(円安の進展)の影響。
- 補装具製作にかかる人件費の上昇。
- 補装具製作の新たな技術の導入や原材料の進歩に伴う製作の効率化等。

〈参考:前回(R3年)の告示改正の概要〉

義肢、装具及び座位保持装置の製作事業者に対する実態調査の結果、作業人件費等の上昇を踏まえ、改定。その他の種目について、価格調査に基づいて基準額を改定。等

2. 令和6年度告示改正の基本的な方向性(案)について

現行の告示について、以下の基本的な方向性(案)を踏まえて改正を行ってはどうか。

(1)原材料価格等の高騰への対応

昨今の補装具の素材となる原材料費の高騰を踏まえ、基準額の見直し。

(2)人件費の上昇を踏まえた対応

義肢、装具、座位保持装置の製作にかかる人件費について、種目ごとに見直し。

(3)実状に応じた適正化

補装具における技術革新等の実状に応じた適正化、告示用語の見直し。